

秋田工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	英語ⅡA（2B）	
科目基礎情報							
科目番号	0032		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 4		
開設学科	一般教科（人文科学系）		対象学年		2		
開設期	通年		週時間数		4		
教科書/教材	「CROWN English Communication I, II New Edition」三省堂 「Deep Listening Level 2」日本英語検定協会 「英検分野別10分ドリル準2級 新試験対応版」旺文社 「データベース4500完成英単語・熟語5th Edition」桐原書店 「データベース4500 5th Edition Workbook B」桐原書店						
担当教員	小林 貢,皆方 紀夫						
到達目標							
1. 英検準2級レベルの英語運用能力がある。 2. 4500語レベルの単語力がある。 3. 高等学校で習得すべき英文法の知識を運用できる。 4. 日常生活レベルの英語をナチュラルスピードで聞いて理解することができる。 5. 自分の身近なことを平易な表現を用いて英語で表現できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	英検2級レベルに近い英語運用能力がある。		英検準2級レベルの英語運用能力がある。		英検準2級レベルの英語運用能力がない。		
評価項目2	4500語レベルの単語を85%以上知っている。		4500語レベルの単語を60%程度知っている。		4500語レベルの単語を50%以下しか知らない。		
評価項目3	高等学校で習得すべき英文法の知識を正確に運用できる。		高等学校で習得すべき英文法の知識をある程度運用できる。		高等学校で習得すべき英文法の知識が足りない。		
評価項目4	日常生活レベルの英語をナチュラルスピードで聞いて80%以上の内容を理解することができる。		日常生活レベルの英語をナチュラルスピードで聞いて60%以上の内容を理解することができる。		日常生活レベルの英語をナチュラルスピードで聞いて50%以下の内容しか理解できない。		
評価項目5	自分の身近なことを平易な表現を用いて英語できちんと表現できる。		自分の身近なことを平易な表現を用いて英語である程度表現できる。		自分の身近なことを平易な表現を用いて英語であまり表現できない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	英検準2級レベルの英語運用能力を持ち、日常会話レベルの英語のやり取りができる能力を修得する。						
授業の進め方・方法	演習形式で行いグループワークも行う。必要に応じて適宜小テストを実施し、また宿題（予習）を課す。試験結果が合格点に達しない場合、再試験を行うことがある。						
注意点	〔評価方法〕 合格点は50点である。各中間・期末の成績は、試験結果70%、小テスト20%、授業態度（宿題（予習）を含める）10%で評価する。尚、英検の結果を評価に加える。特に、演習課題・宿題の未提出者は単位取得が困難となるので注意すること。 学年総合成績＝（到達度試験（前期末成績）評価点＋到達度試験（学年末成績）評価点）／2 〔認証評価関連科目〕 英語Ⅱ、英語Ⅲ、英語LL演習、英語会話、総合英語Ⅰ、総合英語Ⅱ、上級英語 〔学習上の注意〕 （授業を受ける前）辞書は座右に置くこと。予習・復習を積極的に行い、授業に参加すること。 （授業を受けた後）試験により、各自で授業内容の理解度をチェックするとともに、確実に理解すること。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業ガイダンス Lesson10 Good O'l Charlie Brown ① 英検、Deep Listening		授業の進め方と評価の仕方について説明する。仮定法過去完了・be+to不定詞の用法が理解できる。英検問題およびリスニング問題の傾向がわかる。		
		2週	Lesson10 Good O'l Charlie Brown ② 英検、Deep Listening		仮定法過去完了・be+to不定詞の用法が理解できる。英検問題およびリスニング問題の傾向がわかる。		
		3週	Lesson10 Good O'l Charlie Brown ③ 英検、Deep Listening		仮定法過去完了・be+to不定詞の用法が理解できる。英検問題およびリスニング問題の傾向がわかる。		
		4週	Lesson10 Good O'l Charlie Brown ④ 英検、Deep Listening		仮定法過去完了・be+to不定詞の用法が理解できる。英検問題およびリスニング問題の傾向がわかる。		
		5週	Lesson2 Into Unknown Territory ① 英検、Deep Listening		関係詞の非制限用法が理解できる。英検問題およびリスニング問題の傾向がわかる。		
		6週	Lesson2 Into Unknown Territory ② 英検、Deep Listening		関係詞非制限用法が理解できる。英検問題およびリスニング問題の傾向がわかる。		
		7週	Lesson2 Into Unknown Territory ③ 英検、Deep Listening		関係詞の非制限用法が理解できる。英検問題およびリスニング問題の傾向がわかる。		
		8週	到達度試験（前期中間） Lesson2 Into Unknown Territory ④		関係詞の非制限用法が理解できる。 上記項目について学習した内容の理解度を確認する。		
	2ndQ	9週	試験の解説と解答 Lesson3 OOPARTS ① 英検、Deep Listening		前期中間試験の解説と解答 前置詞＋関係代名詞が理解できる。 英検問題およびリスニング問題の傾向がわかる。		
		10週	Lesson3 OOPARTS ② 英検、Deep Listening		前置詞＋関係代名詞が理解できる。 英検問題およびリスニング問題の傾向がわかる。		
		11週	Lesson3 OOPARTS ③ 英検、Deep Listening		前置詞＋関係代名詞が理解できる。 英検問題およびリスニング問題の傾向がわかる。		

後期		12週	Lesson3 OOPARTS ④ 英検、Deep Listening	前置詞＋関係代名詞が理解できる。 英検問題およびリスニング問題の傾向がわかる。
		13週	Lesson5 Saving Cherokee ① 英検、Deep Listening	複合関係詞、不定詞の完了形が理解できる。 英検問題およびリスニング問題の傾向がわかる。
		14週	Lesson5 Saving Cherokee ② 英検、Deep Listening	複合関係詞、不定詞の完了形が理解できる。 英検問題およびリスニング問題の傾向がわかる。
		15週	Lesson5 Saving Cherokee ③ 英検、Deep Listening	複合関係詞、不定詞の完了形が理解できる。英検問題 およびリスニング問題の傾向がわかる。
		16週	到達度試験（前期期末） 試験の解説と解答	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。 前期期末試験の解説と解答、および授業アンケート
	3rdQ	1週	Lesson6 Ashura ① 英検、Deep Listening	to不定詞結果用法、無生物主語構文が理解できる。 英検問題およびリスニング問題の傾向がわかる。
		2週	Lesson6 Ashura ② 英検、Deep Listening	to不定詞結果用法、無生物主語構文が理解できる。 英検問題およびリスニング問題の傾向がわかる。
		3週	Lesson6 Ashura ③ 英検、Deep Listening	to不定詞結果用法、無生物主語構文が理解できる。 英検問題およびリスニング問題の傾向がわかる。
		4週	Lesson6 Ashura ④ 英検、Deep Listening	to不定詞結果用法、無生物主語構文が理解できる。 英検問題およびリスニング問題の傾向がわかる。
		5週	Lesson7 Why Biomimicry ① 英検、Deep Listening	仮定法現在やさまざまな仮定表現が理解できる。 英検問題およびリスニング問題の傾向がわかる。
		6週	Lesson7 Why Biomimicry ② 英検、Deep Listening	仮定法現在やさまざまな仮定表現が理解できる。 英検問題およびリスニング問題の傾向がわかる。
		7週	Lesson7 Why Biomimicry ③ 英検、Deep Listening	仮定法現在やさまざまな仮定表現が理解できる。 英検問題およびリスニング問題の傾向がわかる。
		8週	到達度試験（後期中間） Lesson8 Working Against the Clock ① 英検、Deep Listening	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。 後期中間試験の解説と解答 完了分詞構文、whetherの用法が理解できる。
	4thQ	9週	Lesson8 Working Against the Clock ② 英検、Deep Listening	完了分詞構文、whetherの用法が理解できる。 英検問題およびリスニング問題の傾向がわかる。
		10週	Lesson8 Working Against the Clock ③ 英検、Deep Listening	完了分詞構文、whetherの用法が理解できる。 英検問題およびリスニング問題の傾向がわかる。
		11週	Lesson8 Working Against the Clock ④ 英検、Deep Listening	完了分詞構文、whetherの用法が理解できる。 英検問題およびリスニング問題の傾向がわかる。
		12週	Lesson9 The Long Voyage Home ① 英検、Deep Listening	独立分詞構文、さまざまな未来形が理解できる。 英検問題およびリスニング問題の傾向がわかる。
		13週	Lesson9 The Long Voyage Home ② 英検、Deep Listening	独立分詞構文、さまざまな未来形が理解できる。 英検問題およびリスニング問題の傾向がわかる。
		14週	Lesson9 The Long Voyage Home ③ 英検、Deep Listening	独立分詞構文、さまざまな未来形が理解できる。 英検問題およびリスニング問題の傾向がわかる。
		15週	Lesson9 The Long Voyage Home ④ 英検、Deep Listening	独立分詞構文、さまざまな未来形が理解できる。 英検問題およびリスニング問題の傾向がわかる。
		16週	到達度試験（後期期末） 試験の解説と解答	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。 後期期末試験の解説と解答、および授業アンケート

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	前1,前2,前6,前10,前14,後2,後6,後10,後14
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	2	前1,前3,前7,前11,前15,後3,後7,後11,後15
			英語運用能力の基礎固め	説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	前1,前4,前8,前12,前16,後4,後8,後12,後16
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	前1,前5,前9,前13,後1,後5,後9,後13

評価割合

	試験	発表	小テスト	レポート	その他	合計
総合評価割合	70	0	20	0	10	100
基礎的能力	70	0	20	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0